

環境活動レポート

エコアクション21

活動期間：2023年3月～2024年2月



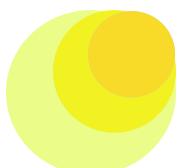
作成日：2024年12月20日

認証登録No. 0000639



目次

1・会社概要	… 3 頁
2・事業概要	… 4 頁
3・環境経営方針	… 5 頁
4・環境への負荷実績	… 6 頁
5・環境負荷の低減目標と実績	… 7 頁
6・主要な環境活動計画の取組結果と評価	… 8 頁
7・代表による総評（評価と見直し）	… 9 頁
8・環境関連法規の違反、訴訟の有無	… 9 頁





1.会社概要

2024/12/20

I.事業所名

小林ハグルマ機械株式会社

II.代表者名

代表取締役 小林 正和

III.所在地

〒425-0064 静岡県焼津市三和 1031 番地の 1

IV.事業内容

五軸部品、半導体部品、一般産業精密機械部品、各種歯車部品の切削加工及び部品組立

V.創業設立

創業：1966 年 4 月 設立：1981 年 5 月

VI.資本金

10,000 千円

VII.事業所規模

従業員数 18 名

延床面積 2586 m²

VIII.環境保全活動責任者及び連絡先

環境保全活動責任者 小林 恵子 (エコ°ーブル 証書番号 6-1-10200)

連絡先

TEL : 054-624-0033

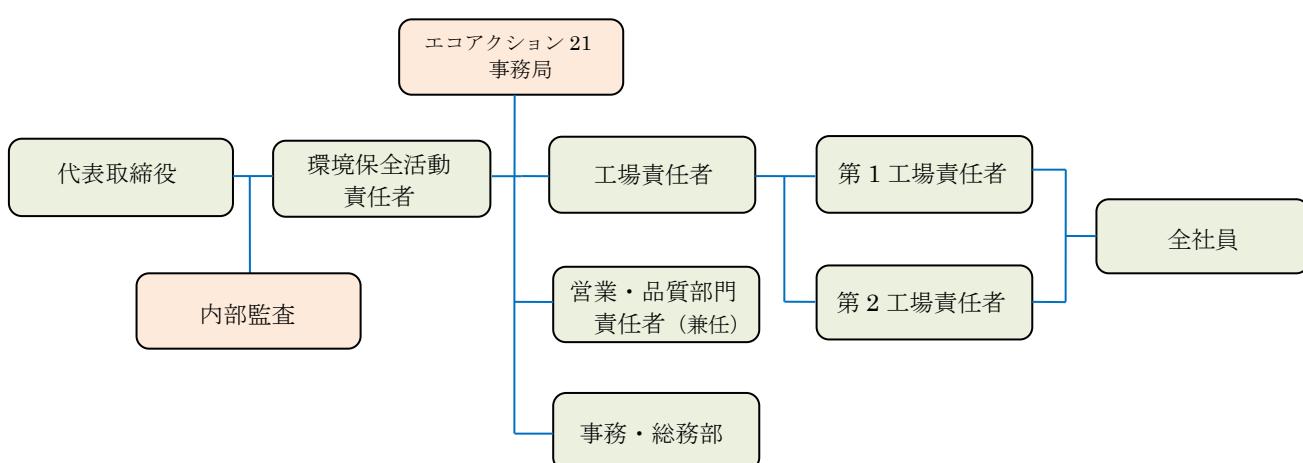
FAX : 054-624-0082

E-mail : k-kobayashi@k-hk.co.jp

URL : www.k-hk.co.jp

IX.活動の対象範囲 本社工場の全活動

—環境保全活動組織図—

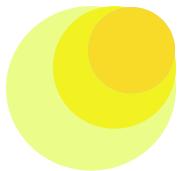
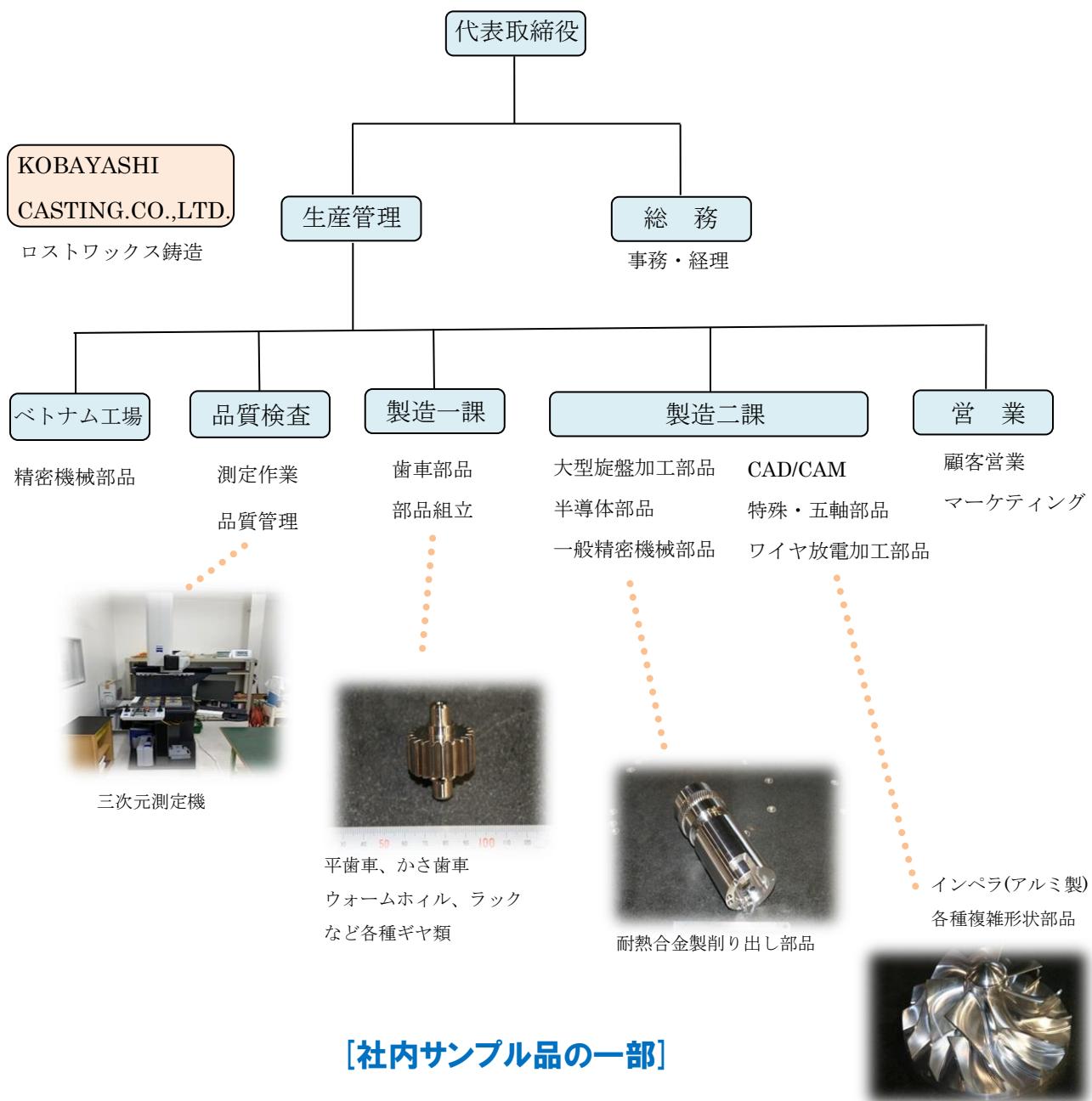


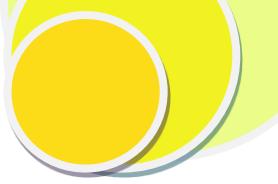


2.事業概要

1966年に歯車部品製造を専門とする事業開始、時代の流れとともに産業用精密機械部品製造に着手。「高精度部品」にこだわり、高度な技術を目指し今日まで歩み続ける。自社の特性を生かした加工技術で難削材と言われるあらゆる金属類を大小問わず複雑形状部品に加工する。常に「進化する企業」を目指し未来を創造し、ニーズを創造していくことで産業界から注目される製品を提供する。近年は小林グループとしてベトナム国へ進出し、自社工場や現地法人ロストワックス铸造会社を起ち上げグローバルに展開している。

－事業組織図－





3.環境経営方針

魚の町 焼津の地で海と山に囲まれた豊かな自然の中、各種鋼材を切削加工する産業精密機械部品製造業を営んでいます。小さな企業ですが、できることからコツコツと努力し、産業技術発展と環境保護の両立を次世代に継承し弊社の社会的責任を果たすため日々精進しています。

—経営理念—

顧客重視の姿勢と質の高いサービスの提供によりお客様の

満足と信頼を得る。また、社会から評価される企業を目指す。

—環境方針—

小林ハグルマ機械株式会社は経営理念のもと、精密機械部品製造の事業をするにあたり、省資源・省エネルギーの視点から、環境にやさしい製品製造を推進します。事業活動内の負荷を見直し、資源使用量削減＝経費削減を社員一同が念頭におき、利益向上と共に地球環境保全活動に取り組みます。

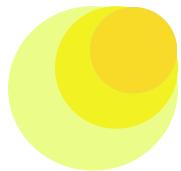
—行動指針—

継続的な環境保全活動を推進すると共に経費の削減をおこなうため、以下の事柄を行動指針とする。

- ✧ 環境負荷への低減目標を策定し、達成します。
- ✧ 天然資源を効率的に使用し、削減する努力を可能な限りおこないます。
- ✧ 廃棄物の削減、適正処理、リサイクルに努めます。 (循環型社会)
- ✧ 設備において拡大、修理、導入等は省資源・省エネのもと遂行します。
- ✧ エコ商品・グリーン購入を遂行します。
- ✧ 近隣地域への影響を考慮した事業所の衛生化を推進します。
- ✧ 関連法規の遵守を誓約します。

2016年3月1日 (改定2022年3月1日)

代表取締役 小林 正和





4.環境への負荷実績

事業年度別の負荷実績

- 事業年度は毎年 3 月～翌年 2 月までの期間を表す
- 2017 年度の出荷額を基準 100 とし、各年度別の出荷額指数を表す
- 購入電力の排出係数 (2020 年) アイグリットソリューションズ（株）0.412 で算出

事業規模/年度	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年
工場規模 (m ²)	2531	2531	2531	2586	2586	2586	2586
出荷額指数	100	113	83	66	98	76	78
従業員数	20	20	18	19	19	18	17

1) 二酸化炭素排出量

CO ₂ /年度	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年
電力(kg-CO ₂ /年)	307996	302375	245065	179656	249172	200762	169754
化石燃料(kg-CO ₂ /年)	6608	7512	8162	8076	9010	8045	7636
合 計	314604	309887	253227	187732	258182	208807	177390
(kg-CO ₂ /年) /単位出荷額当り	3146	2742	3051	2844	2635	2747	2274
対前年比	-%	87%	111%	93%	93%	104%	83%

2) 廃棄物排出量

廃棄物/年度	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	
一般廃棄物 (kg/年)	可燃ごみ	935	955	701	571	676	573	580
	紙類	266	269	194	156	108	105	97
産業廃棄物 (kg/年)	金属くず	18200	19820	14536	7688	14425	12737	7599
	廃油	8292	7928	9328	3600	4350	4150	3050
	廃アラ	680	510	230	340	340	200	180
合計	28373	29482	24989	12355	19966	17765	11506	
(kg/年) /単位出荷額当り	283.7	283.7	260.9	187.2	203.7	233.8	148	
対前年比	82%	92%	115%	62%	109%	115%	63%	

3) 水使用量

使用量/年度	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年
(m ³ /年)	615	627	554	533	580	563	508
(m ³ /年) /従業員一人当	30	31	31	28	31	31	30
対前年比	94%	103%	100%	90%	110%	100%	97%





5.環境負荷の低減目標と実績

1) 環境負荷低減目標

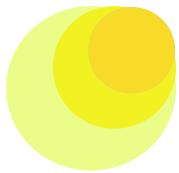
長期低減目標...2027年度には二酸化炭素排出量、廃棄物排出量とともにマイナス10%を目標とする。

年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
削減目標	基準年度	1%減	1%減	1%減	1%減	1%減
二酸化炭素 kg/Co2/年/単位出荷額当り	目標値 3146.04 (基準値)	3083.12	3052.29	3021.77	2991.55	2961.63
廃棄物総排出量 kg/年/単位出荷額当り	目標値 283.70 (基準値)	278.03	275.24	272.49	269.80	267.10
一般廃棄物 (紙類・可燃ごみ) kg/年/単位出荷額当り	目標値 12.10 (基準値)	11.85	11.73	11.62	11.50	11.39
年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
削減目標	1%減	1%減	1%減	1%減	1%減	
二酸化炭素 kg/Co2/年/単位出荷額当り	目標値 2932.02	2902.70	2873.67	2844.93	2816.48	
廃棄物総排出量 kg/年/単位出荷額当り	目標値 264.43	261.80	229.18	256.60	254.10	
一般廃棄物 (紙類・可燃ごみ) kg/年/単位出荷額当り	目標値 11.27	11.16	11.05	10.94	10.83	
化学物質	—	現状把握	適正使用と使用量管理			

注) 化学物質の使用は加工製品の品質上代替えが困難なため維持管理とする

2) 環境負荷低減目標と実績

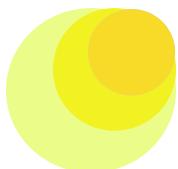
年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年
削減目標	基準年度	1%減	1%減	1%減	1%減	1%減	1%減
二酸化炭素 kg/Co2/年/単位出荷額 当り	目標値 3146.04 (基準値)	3083.12	3052.29	3021.77	2991.55	2961.63	2932.02
	実績	-	2742.37	3050.92	2844.42	2635	2747
	評価	-	89%...11%↓ ...○	99%...1%↓ ...○	94%...6%↓ ...○	88%...12%↓ ...○	93%...7%↓ ...○
廃棄物総排出量 kg/年/単位出荷額当り	目標値 283.70 (基準値)	278.030	275.24	272.94	269.80	267.10	264.43
	実績	-	260.90	301.10	187.19	203.73	233.80
	評価	-	94%...6%↓ ...○	109%...9%↑ ...×	69%...31%↓ ...○	76%...24%↓ ...○	88%...12%↓ ...○
一般廃棄物 (紙類・可燃ごみ) kg/年/単位出荷額当り	目標値 12.10 (基準値)	11.85	11.73	11.62	11.50	11.39	11.27
	実績	-	10.83	10.78	11.02	8.0	8.9
	評価	-	91%...9%↓ ...○	92%...8%↓ ...○	94%...6%↓ ...○	70%...30%↓ ...○	78%...22%↓ ...○





6. 主要な環境保全活動計画の取組結果と評価

推進計画内容	達成度	取組結果の評価
二酸化炭素総排出量（数値）	達成	中長期削減目標値...2932.02kg·co2/単位出荷額当り 実績...2274kg·co2/単位出荷額当り ...78% 対前年比（kg·co2/単位出荷額当り）...83% ...17%減
電力使用量（数値）	達成	電力使用料対前年比（kg·co2/単位出荷額当り）...2022年 2642（kg·co2/単位出荷額当り） 2023年 2176（kg·co2/単位出荷額当り）...82% ...18%減 ・空調機の温度設定を夏は27度、冬は23度でキープしクールビス、ウォームビスを実践した ・機械設備や空調設備、扇風機や換気扇の清掃を大型連休前（年3回）おこなった ・出勤後の機械設備の電源立上げ時刻を定め無駄に暖機運転をしないよう徹底した
（今後の強化活動）		・省エネ機械設備の導入し、電力使用量の削減と生産効率向上を重視したい
化石燃料（数値）	達成	対前年比... 2022年 106（kg·co2/単位出荷額当り） 2023年 98（kg·co2/単位出荷額当り） ...92% ...8%減少 ・配達ルートを見直しと集約 ・不要な荷物は積載しない
（今後の強化活動）		・エコタイヤの購入を推進
廃棄物総排出量（数値）	達成	中長期削減目標値...264.43kg/単位出荷額当り 実績...148kg/単位出荷額当り ...63% 37%減 対前年比...63% ...37%減
産業廃棄物総排出量（数値）	達成	2022年 合計 17087kg ...225 kg/単位出荷額当り 2023年 合計 10829 kg ...139kg/単位出荷額当り 対前年比...62% ...38%減 ・マニフェスト票発行と保存管理の徹底、廃棄物処理施設の見学を実施した ・廃棄物の適正な分別を徹底した ・プラ製の緩衝材の使いまわしで廃棄しない徹底
（今後の強化活動）		・有機溶剤に関し適正な管理と廃棄することの見直しをおこなう
一般廃棄物排出量（数値）	達成	中長期削減目標値...11.27kg/単位出荷額当り 実績...8.7kg/単位出荷額当り ...77%...23%減 対前年比...2022年 8.9kg/単位出荷額当り 2023年 8.7kg/単位出荷額当り 98% 2%減 ・紙類は再利用 ・ウエス、タオルの使用見直し ・ごみの軽量化 ・使用済の段ボールは裁断して製品同士の緩衝材として使用しゴミとしない徹底 ・ウエス使用済は回収ボックスへ、最終的に油汚れの床拭き掃除に使用するまで節約とゴミ削減 ・油水はゴミに浸みませぬ、床拭き後の切粉はゴミに混ぜず混ざり粉として分別処分の徹底
（今後の強化活動）		・時短、資源使用量とゴミ排出削減のため、通い箱で梱包をしない製品出荷の方法を立案し定着化をはかる
化学物質		・使用量の法的な管理と報告、代替えの具体化を実行する
水使用量（数値）	達成	30(m³/年) /従業員一人当り 対前年比 97%...減 3% ・水道の蛇口から水漏れを見つけたら速やかに交換をする徹底をおこなった
（今後の強化活動）		・雨水の貯蔵し散水や清掃に使用することを試みる
《その他の活動》		
グリーン購入	達成	・グリーン商品購入率目標 74% 実績 85%
社内外の環境コミュニケーションの実施	達成	・行政、得意先など環境に関するセミナーや勉強会に積極的に参加し情報共有する活動
労働安全衛生	達成	・5S活動の定期的な見直しやヒヤリハットの報告会実施で事故を未然防止する
緊急事態訓練や火災訓練の実施	達成	・地震訓練（焼津市シェイクアウト訓練）、火災訓練、緊急事態訓練の実施をおこなえた
（今後の強化活動）		・南海トラフ沖地震に備えた社内作業環境の整備と避難場所としての備蓄の準備
（総評）		中長期削減目標に関し二酸化炭素排出量、産業廃棄物排出量、一般可燃ごみすべて達成。また対前年比でも全てにおいて減少となった。水の使用料は m3/年/従業員一人当たりで対前年比 3%の減少、グリーン購入率も目標 74%のところ 85%と達成した。





7.代表による総評【評価・見直し】

中長期削減目標が二酸化炭素排出量、産業廃棄物排出量、一般可燃ゴミ排出量すべて目標値（kg/単位出荷額当り）により削減達成、対前年比でも全て削減しました。グリーン購入も2年連続で大幅に目標を達成しています。これら削減達成の背景は2018年から起ち上げたベトナム工場に量産加工品を委託し、本社では大型製品や特殊加工品に特化した結果、各廃棄物の削減に繋がったと考えます。金属くずや廃油の削減は勿論、輸入品に使用する梱包材にビニールやプラスチックの使用を削減し、無害に近いポリエチレン製の弾性ネットロンを繰り返し使用することで削減しました。認証から18年経過し、弊社の事業形態も変化してきたので環境経営活動の内容をグローバル事業を展開している弊社にでるべきSDGsな役割や活動に視野を向けて活動を具現化し実行に移すことを目標とします。

見直しの必要性	環境経営方針	環境経営目標	環境活動推進計画	環境経営システム	実施体制
	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>				
確認者 : 2024年2月29日 代表 小林正和					

8.環境関連法規の違反・訴訟の有無

創業から現在までに一度も違反はありません。また、関係機関からの指摘もなく訴訟も1件もありませんでした。

環境法	要求事項	適用事項	遵守状況
廃掃法	廃棄物(産業)を排出する事業者の責務	一般廃棄物、産業廃棄物	○
	産業廃棄物の運搬又は処分を他人に委託する事業所の責務		
資源有効利用促進法・リサイクル法	再生資源、再生部品の利用	金属くず、工具、修理部品	○
家電リサイクル法	特定家庭用機器の排出抑制と適正処分を行う	テレビ、冷蔵庫、パソコン、プリンター	○
浄化槽法	浄化槽を設置する工場、公共水域への排出を行う事業所の責務	合併浄化槽 2槽	○
騒音規制法	著しく騒音を発生する施設を市町村への届出と規制基準の遵守	旋盤機、ボール盤、研磨機、空気圧縮機	○
省エネルギー法	エネルギー使用方法の改善、省エネルギー性能が優れる機械器具の選択	電気使用量、ガソリン、軽油、灯油	○
PRTR法	適正管理、対象物質使用量の把握	洗浄液	○
グリーン購入法	環境物品等を選択する努力をする	用紙類、備品、文房具	○
労働安全衛生法	有機溶剤業務に関する事項（定期健康診断、貯蔵の注意義務、保護具）	洗浄液	○
フロン排出抑制法	点検整備記録簿の作成と保存、機器を廃棄の際フロン類を回収の義務	コンプレッサー圧縮機、空調設備	○

確認者 : 2024年2月29日 担当 小林恵子

